

平成28年9月16日

## お盆における渋滞緩和の取り組み結果について ～経路変更の促進により国道33号の渋滞が緩和～

国道33号の渋滞緩和対策として、お盆期間中に高松方面へ向かう場合、国道11号を經由して川内ICをご利用いただく取り組みをゴールデンウィークに引き続き実施しておりました。

本取り組みについて、主な検証結果をお知らせいたします。

### 1. 国道33号の1km以上の渋滞発生時間が昨年 비해減少

- ・松山IC入口交差点南行の1km以上の渋滞発生時間が11時台では解消

	〈10時台〉	〈11時台〉
〈H27お盆〉	13分	33分
〈H28お盆〉	10分	0分

### 2. 道後温泉から川内ICまでの所要時間が国道11号経路で時間短縮

- ・道後温泉から川内ICまでの所要時間が最大約21分短縮（10時台）  
国道33号経路 約57分 ⇔ 国道11号経路 約36分

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】の取組みに関連します。

### 愛媛県渋滞対策協議会

問い合わせ先：四国地方整備局 松山河川国道事務所

◎ 副所長（道路）：庄野 達也（内線：205）

計画課長：高井 健一（内線：261）

代表 089-972-0034

FAX 089-972-8056

◎：主な問い合わせ先

※愛媛県渋滞対策協議会構成員

愛媛大学、国土交通省四国地方整備局道路部、松山河川国道事務所、大洲河川国道事務所  
国土交通省四国運輸局愛媛運輸支局、西日本高速道路(株)、本州四国連絡高速道路(株)  
愛媛県、愛媛県警察本部、松山市、新居浜市

○繁忙期は、松山ICを利用する交通の集中により、**国道33号が普段より渋滞しているため、高松方面へ用事がある方は松山ICよりも川内IC（国道11号）を利用した方が早く行ける時間帯があります。**

○この事から、ゴールデンウィークに引き続き、お盆にも国道33号の渋滞緩和の取組として、**国道11号への経路誘導を促す情報提供**を行いました。

⇒ 電光掲示板、横断幕、路上看板、ポスター、チラシ、HP



【路上看板】



【ポスター】  
(チラシも同デザイン)



【電光掲示板】

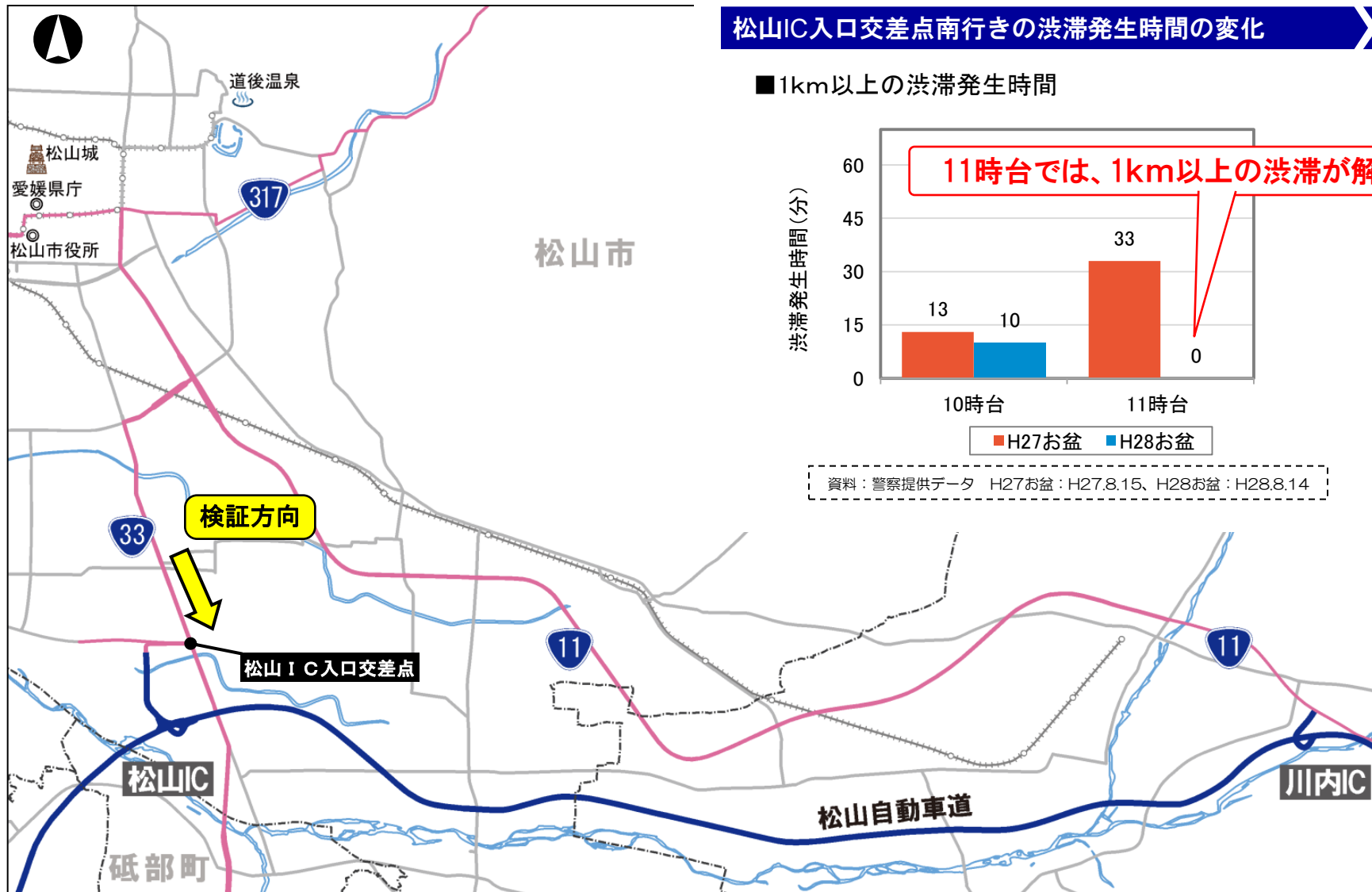


【横断幕】



# 1. 国道33号の1km以上の渋滞発生時間が昨年に比べ減少

○松山IC入口交差点南行のH28お盆期間中の渋滞は、H27お盆期間中と比べ、**1km以上の渋滞発生時間が減少し、11時台では解消**しました。





# 2. 道後温泉から川内ICまでの所要時間が国道11号経由で時間短縮

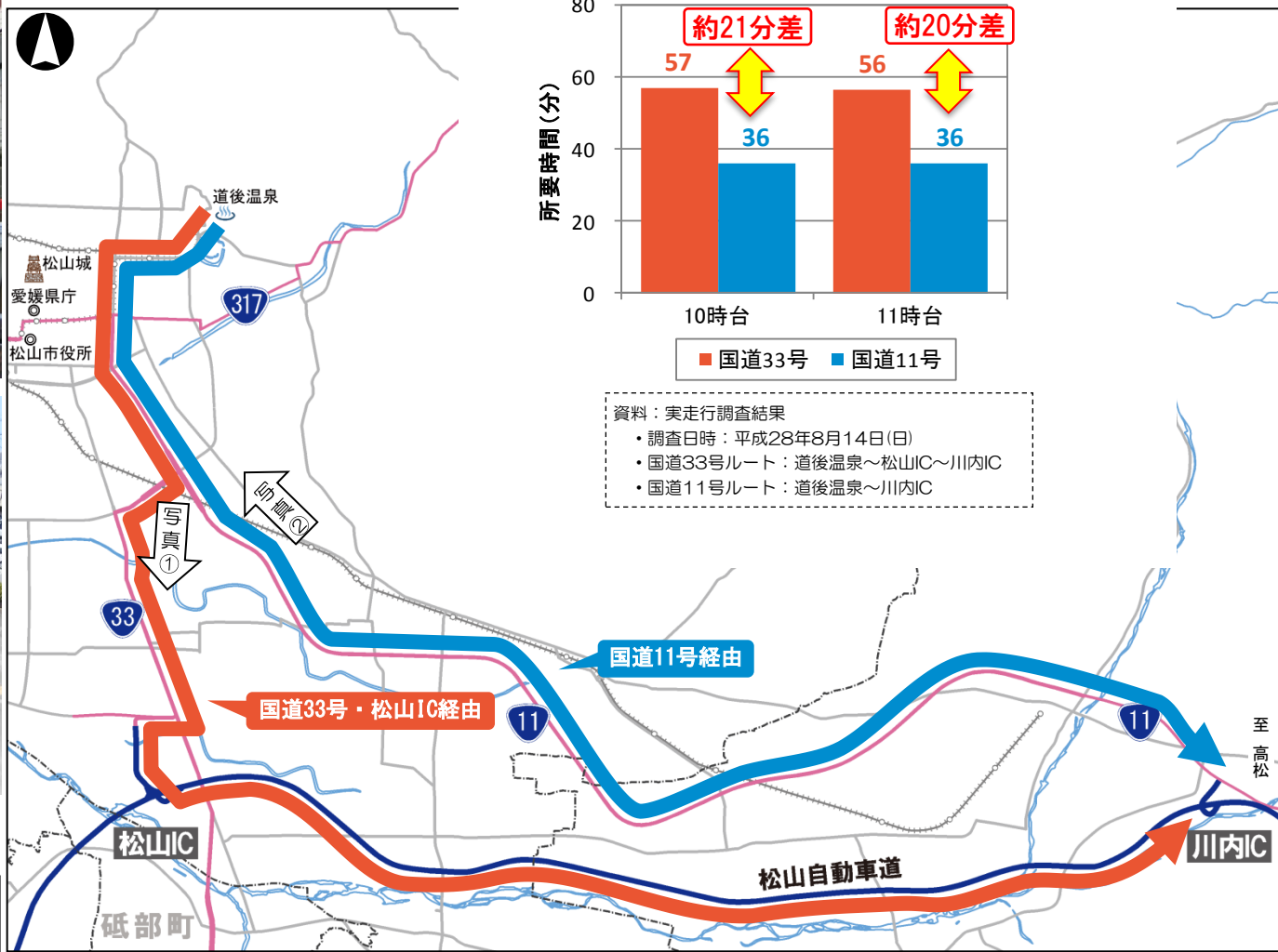
○国道11号を経由された方は、国道33号経由に比べ、**最大で約21分早く**行く事が出来ました。

## お盆（8/14）の交通状況

## 道後温泉から川内ICまでの所要時間の比較



- 凡例
- 高速道路
  - 一般国道
  - 県道・主要市道



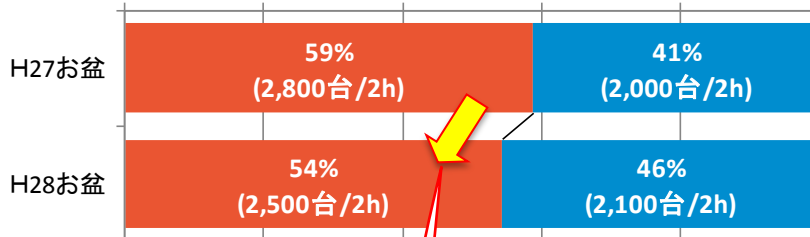
### 3. 国道33号の利用割合が昨年 비해約1割減少

○10時～12時の国道11号と国道33号の利用割合を比較すると、国道33号から国道11号への交通転換により、H27お盆期間中に比べ、H28お盆期間中の**国道33号の利用割合が約1割減少**しました。(2時間交通量で約300台減少)

国道33号・国道11号の交通量変化 (10時～12時)

国道11号と国道33号の利用割合

0% 20% 40% 60% 80% 100%

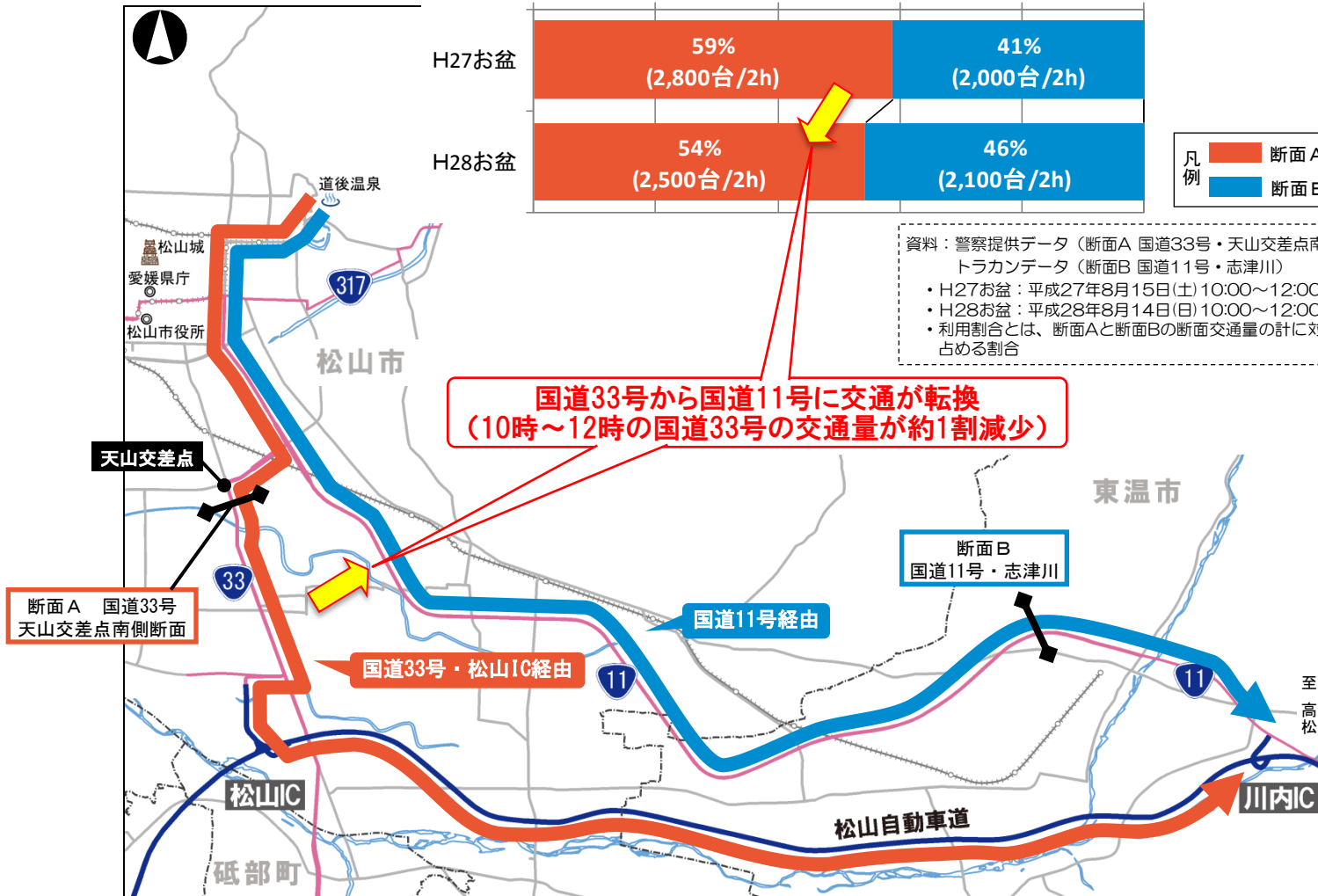


凡例  
■ 断面A (国道33号・天山交差点南側断面)  
■ 断面B (国道11号・志津川)

資料：警察提供データ (断面A 国道33号・天山交差点南側断面)  
 トラカンデータ (断面B 国道11号・志津川)

- ・H27お盆：平成27年8月15日(土) 10:00～12:00
- ・H28お盆：平成28年8月14日(日) 10:00～12:00
- ・利用割合とは、断面Aと断面Bの断面交通量の計に対して、それぞれの断面交通量が占める割合

国道33号から国道11号に交通が転換  
 (10時～12時の国道33号の交通量が約1割減少)

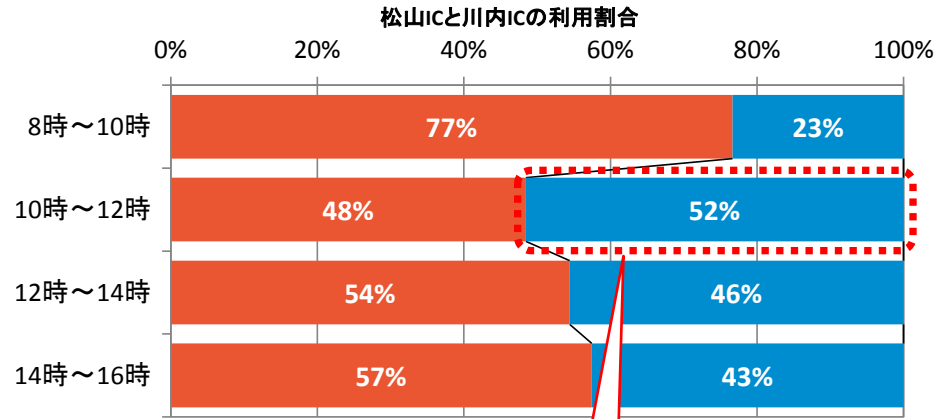


凡例  
— 高速道路  
— 一般国道  
— 県道・主要市道

# 4. 小坂交差点から川内ICへの利用割合は経路誘導を促した時間帯が最も高い

○H28年お盆期間中、小坂交差点付近から高松方面への交通が川内ICを利用する割合は、情報提供により**経路誘導を促した10時～12時が最も高い**結果となりました。

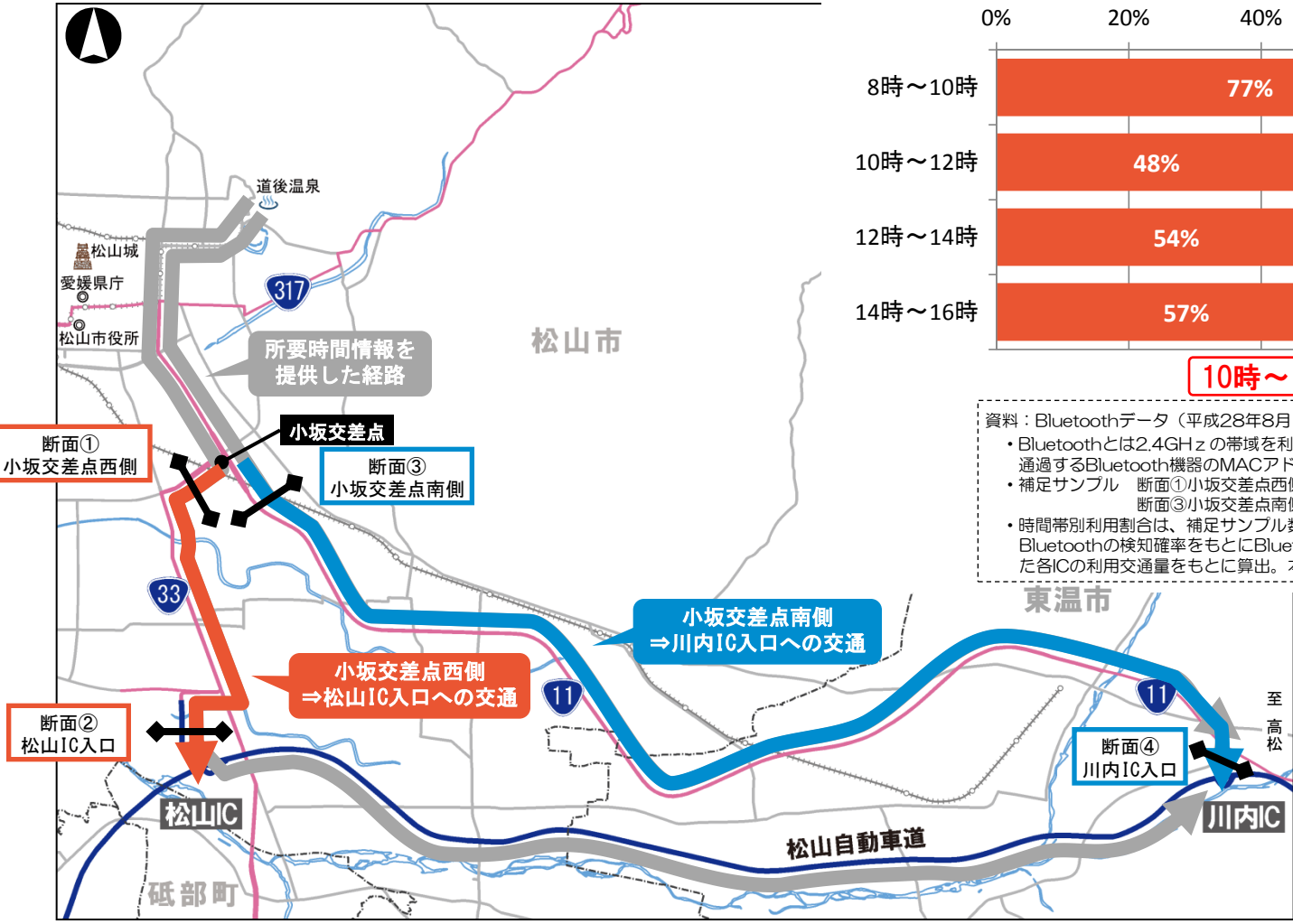
## 小坂交差点⇒松山IC入口・川内IC入口の利用割合の変化



**10時～12時の川内IC利用が最も高い**

資料：Bluetoothデータ（平成28年8月14日）

- Bluetoothとは2.4GHzの帯域を利用した無線技術。Bluetoothデータは、各調査断面を通過するBluetooth機器のMACアドレスを取得したデータ。
- 補足サンプル 断面①小坂交差点西側⇒断面②松山IC（76件）  
断面③小坂交差点南側⇒断面④川内IC（80件）
- 時間帯別利用割合は、補足サンプル数と断面交通量、及び観測方法から推定されるBluetoothの検知確率をもとにBluetooth搭載車両数を推定し、その結果をもとに推計した各ICの利用交通量をもとに算出。本調査および分析は愛媛大学と連携したものである。



凡例

- 高速道路
- 一般国道
- 県道・主な市道

この地図は、国土地理院の数値地図(国土基本情報)を使用したものである。